

大將軍小だより

～後期学校評価号～

平成30年2月9日
京都市立大將軍小学校
校長 西村 彰高

平成29年度 後期学校評価から

今年度2回目の学校評価を保護者の皆様、子どもたちに12月に実施いたしました。昨年よりも多い8割5分ほどの保護者の皆様のご回答をいただきました。前期に引き続きアンケートにご協力いただき感謝申し上げます。

保護者の皆様をはじめ、地域の皆様におかれましては、平素より大將軍小学校の学校教育活動へ参画いただき、子どもたちの学習や生活をささえていただいております。学校評価では学校での取組がどのくらい達成できているのか、重点的な取組が功を奏しているのか、といった結果を客観的に分析する機会であるととらえています。学校教育活動は学校だけで取り組めるものではなく、保護者や地域の協力があって、効果が上がるところが多々あります。

今回は前期のデータと比較できるように、保護者の皆様の集計を下表に、児童の集計を右表に掲載いたしました。数字は%です。

全体を通して、保護者と児童の評価ともに「よくあてはまる」「あてはまる」の合計数が多数を占めています。各家庭で努力して頂いたり、学校においても改善に努めていることを評価して頂いたりした結果と受け止めています。

平成29年度 後期学校評価		よくできている	できている	あまりできていない	できていない	
<保護者>						
1	我が子が進んで挨拶するように、家でも挨拶をしている。	29前	31	60	8	1
		29後	35	51	12	1
2	我が家で、我が子が友達を大切にし、仲良くするように働きかけている。	29前	34	63	2	0
		29後	39	57	3	1
3	我が子が困った時は先生に相談するように言っている。	29前	31	60	8	0
		29後	37	53	8	2
4	我が子が朝食をとり、遅刻することなく登校できるように働きかけている。	29前	70	26	1	2
		29後	64	32	2	2
5	我が子が忘れ物なく学習準備をする習慣が身につくよう、働きかけている。	29前	35	53	11	2
		29後	41	45	13	1
6	我が家で、我が家に掃除や家事の習慣が身につくよう役割を決めている。	29前	10	38	49	4
		29後	15	52	30	3
7	我が子がはきものをそろえるように働きかけている。	29前	10	49	34	7
		29後	11	42	42	5
8	我が子の良さを認め、褒めるようにしている。	29前	24	59	17	0
		29後	24	60	14	2
9	我が子は授業が分かりやすいと言っている。	29前	16	69	11	4
		29後	17	69	12	2
10	我が子に人の話をしっかりと聞くよう働きかけている。	29前	31	61	7	1
		29後	12	68	21	0
11	我が子に授業中、進んで発表するように励ましている。	29前	17	56	27	0
		29後	16	58	25	0
12	我が子に宿題などの家庭学習の習慣が身につくよう、働きかけている。	29前	33	57	10	0
		29後	18	67	15	0
13	我が子に本をよく読むように勧めている。	29前	28	27	40	5
		29後	24	47	22	6
14	家庭で大將軍地域の良いところについて話す機会をもっている。	29前	2	24	63	10
		29後	6	28	55	11

保護者の皆様の集計結果では前期と比較して2項目のポイントを下げた一方で、児童の集計結果は前期と比較すると、3項目でポイントをあげる結果となりました。

前期にも記載いたしましたとおり、学校では、子どもたち一人一人を大切にして、子どもたちの規範意識を高めること、そして、自尊感情を育てることをめざしています。それは、規範意識と自尊感情の高い子どもは学力も比較的に高いと言われているからです。

前期学校評価からの変容及び学校が重点的に取り組んできました評価項目を中心に、以下、紹介いたします。

なお、右下および裏面の帯グラフは左側から「よくできている」「できている」「あまりできていない」「できない」の順にならべています。

また、児童・保護者比較の帯グラフと、29前・29後は児童の集計の変容を表したグラフです。

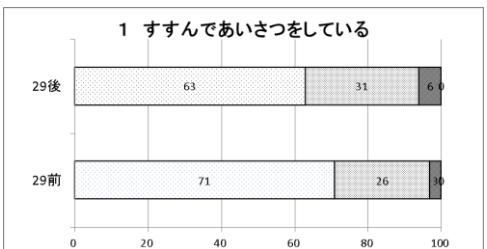
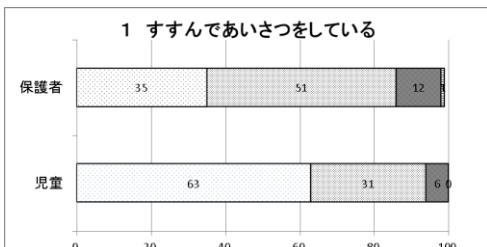


平成29年度 後期学校評価		よくできている	できている	あまりできていない	できていない	
<児童>						
1	自分から進んであいさつをしている。	29前	71	26	3	0
		29後	63	31	6	0
2	友だちを大切にし、仲良くしている。	29前	61	34	5	1
		29後	56	38	5	1
3	困ったことがあれば、先生に相談している。	29前	49	24	22	6
		29後	40	37	21	1
4	朝ご飯を食べ、学校に遅れないように家を出している。	29前	74	20	5	1
		29後	67	23	8	2
5	忘れ物をしないで、学習の準備ができる。	29前	46	39	14	1
		29後	40	45	13	2
6	係や掃除・給食の当番の仕事を最後までできている。	29前	74	22	4	0
		29後	62	31	6	0
7	はきものはそろえている。	29前	54	33	10	4
		29後	55	38	6	1
8	自分の良いところが言える。	29前	41	27	25	7
		29後	43	31	22	3
9	授業がよくわかる。	29前	60	32	6	2
		29後	62	28	8	2
10	授業中、人の話を最後までしっかり聞いている。	29前	56	35	8	1
		29後	59	35	3	3
11	授業中、自分から進んで発表している。	29前	35	39	20	7
		29後	50	40	8	2
12	家庭学習(宿題)を自分から進んでしている。	29前	64	22	12	2
		29後	52	33	14	2
13	本をよく読んでいる。	29前	54	23	16	7
		29後	67	16	11	5
14	大將軍の地域のことが好きである。	29前	63	29	4	4
		29後	85	14	2	0

<項目ごとにふいかえいます>

自分からあいさつをしているか

子どもの評価では「自分から進んであいさつしている」が高い評価になっています。数字自体は下がっていますが、質的には向上していると感じています。実際にあいさつの様子を見ていると、一度立ち止まってていねいに礼をしてあいさつができる子どもが着実にふえていることを実感することができます。1月にも北野中学校と「小中合同あいさつ運動」で、気持ちの良いあいさつができるように取り組んでいます。これからも、学校・家庭・地域でのあいさつの輪を広げていきたいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。



友だちを大切にし、仲良くしているか



結果から、ほとんどの子どもが友だちを大切にし、仲良く過ごそうという思いで学校生活を送っていると言えます。

例えば、小学校ではフレンドリー活動（縦割り活動）を通して1年生から6年生がグループを組んで活動する機会を多く設定しています。同じ学年の友達だけでなく、上の学年の子どもが下の学年の子どもに優しく接することを多く目にしてすることで、自然と学校全体が友達に対して優しい心で接することができるようになってきていると考えられます。

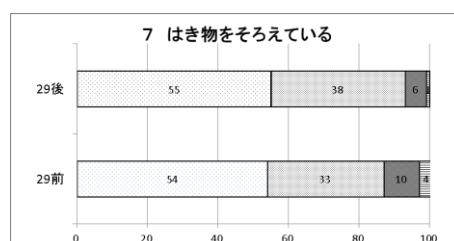
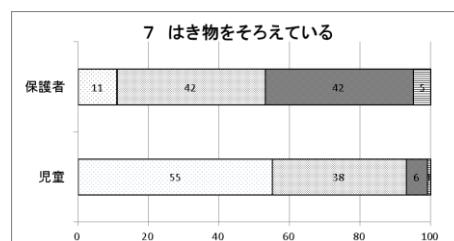
朝ご飯を食べ、遅れないように登校できているか

入学式や学校だより、PTAの広報紙等で保護者の皆様にお願いしたことです。



前期に比べると、朝の登校時刻が少し遅くなっているように思われます。日照時間も短く、朝布団から出ることに抵抗を感じている子どもも見られます。十分に食事をとれないまま登校することで、学習への集中力が低下し、十分な学力定着が図れないこともあります。早寝早起きの生活習慣と合わせて、朝の時間に余裕をもたせることでしっかりと朝食をとり、元気いっぱいに登校できることが望まれます。今後とも、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

履き物をそろえているか



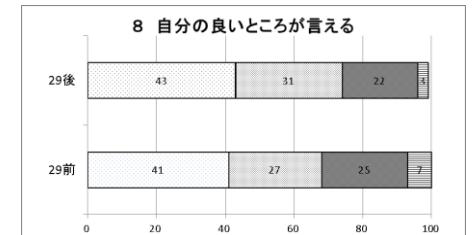
社会で生きていく上で、きまりやルールを守ること、マナーについても心がけて生活することがとても重要です。きまりやルールを守ることは自分自身を守ることにもつながります。

前期に比べると、履き物をきちんと揃える学年が増えてきています。しかし、トイレのスリッパはあまりそろっていません。次に使う人のことに思いをはせ、お互いが気持ちよく過ごすためにはどうしたらよいのかを、この結果を通して今一度学校や各家庭で考えるきっかけとしてほしいと思います。



自分の良いところを言えるか

自分のよさを言える子どもは友達のよさを見付けることにも長けています。お互いのよいところに目を向け、何事に対しても前向きにチャレンジする気持ちも旺盛です。また、相手を敬う、感謝するといった気持ちも高まります。前期と比べて、「概ねできている」子どもが、わずかに増えています。これからも、学習場面や学校行事等を通して自己有用感を高めていきたいと思います。

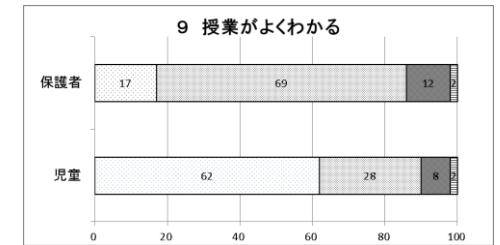


人の話を最後までしっかり聞けていますか



子どもたちの確かな学力の定着のために、学校では「授業」、家庭では「家庭学習」が大変重要です。とりわけ授業では「話す力」「聞く力」を学習の基礎基本とし、思考力・判断

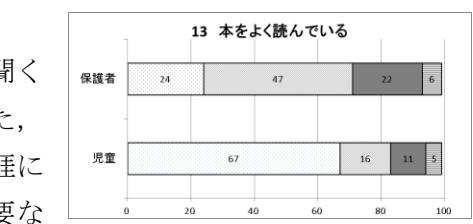
力・表現力の向上に努めています。先生の指示や発問、友達の思いや考えにしっかりと耳を傾け、自分の学びを深めていける子どもたちをこれからも育てていきたいと思います。



本をよく読んでいるか

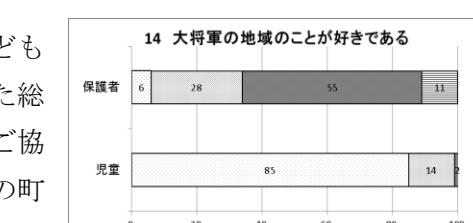


本を読むことは、国語の読む力・話す聞く力・書く力と大きく関係しています。また、家庭学習の習慣を身につけることや、生涯にわたって学ぶ意欲にもつながるとしても重要なことです。前項目では「授業」について書かせていただきましたが、「家庭学習」も確かな学力の定着には欠かせないものです。「読書」はその家庭学習の一つにもなります。学校では読書ノートを活用した取組や読書週間を設定し、本好きの子どもたちを育てていきたいと思います。



大将軍の地域のことが好きであるか

自分たちの住んでいるこの地域を「好き」と答えた子どもの割合がとても高いことがわかります。地域を教材とした総合的な学習の時間及び、社会科や生活科で地域の方々にご協力をお願いすることがこれからも続くと思いますが、この町が好きと自信をもって言える子どもたちを地域の方々と育てていきたいと思いますので、今後とも学校教育活動へのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひします。



「安心と信頼の学校づくり」を目指し、さらに努力してまいります！
これからも「学校評価」にご協力をよろしくお願ひいたします。

